

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

270

障害者雇用推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	3	障害のある人の自立と社会参加の推進
取組方針	3	社会参加・自立に向けた支援体制づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	社会福祉費		
	目	障害者総合支援費		
	大事業	障害者総合支援事業		
	中事業	障害者雇用推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市障害者計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	障害者支援課	西岡 貞晶 435-1060
事業実施の根拠法令	インターンシップ事業補助金交付要綱		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 障害者の一般就労者数の増加を図る。		全体事業概要 職場開拓推進員を配置し、企業訪問を通して障害者が働く職場を開拓し、関係機関と連携を図り障害者雇用を推進する。また、障害者が協力企業で就労実習をするインターンシップに助成金を交付する事業、就労継続支援事業所に対し、利用者が一般就労してから6か月間継続支援を行った場合に助成金を交付する事業を行い、障害者の一般就労に向けた支援体制づくりを行う。			
	事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
・一般就労奨励金給付事業・ 職場開拓等特別事業⑥・イン ターンシップ助成事業⑥を 実施した。		・一般就労奨励金給付事業・ 職場開拓等特別事業⑥・イン ターンシップ助成事業⑥を 実施した。	職場開拓推進員による企業訪 問、インターンシップ助成事 業、一般就労定着支援助成事 業を実施した。	職場開拓推進員による企業訪 問、インターンシップ助成事 業、一般就労定着支援助成事 業を実施する。		

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	6,405	6,048	6,214	6,073	1,870	737	1,623	0	1,623	0
伸び率(%)	△33.1%	13.8%	△3%	0.4%	△69.9%	△87.9%	△13.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,314	2,473	2,478	2,398	2,336	2,497	2,497	0	2,497
	正規職員以外	0	0	0	0	2,387	2,387	2,387	0	2,387
	小計	2,314	2,473	2,478	2,398	4,723	4,884	4,884	0	4,884
国庫支出金	602	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	301	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	5,502	6,048	6,214	6,073	1,870	737	1,623	0	1,623	0
所要人数 (人)	正規職員	0.29	0.31	0.31	0.30	0.29	0.31	0.31	0.00	0.31
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.96	0.96	0.96	0.00	0.96
主な予算内訳	一般就労定着支援助成金 1,000千円、障害者雇用推進事業インターンシップ助成金 870千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	職場開拓推進員の延べ訪問企業数(平成30年度までは業務委託により実施。平成31年度より直営により実施。)	企業数	目標値					
			実績値	212	129	372		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
	職場開拓推進員の対応した延べ相談件数(平成30年度終了)	件	目標値					
			実績値	2990	1822	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
成果指標	雇用奨励金交付件数(平成30年度終了)	件	目標値	5	7	0	0	0
			実績値	6	8	0		
			達成度(%)	120%	128,5%	0%	%	%
	インターンシップ助成金交付件数	件	目標値	18	10	10	10	
			実績値	8	7	6		
			達成度(%)	44.4%	70%	60%	%	%
一般就労定着支援助成金交付件数(平成31年度より実施)	件	目標値			10	8		
		実績値			3			
		達成度(%)	%	%	30.0%	%	%	

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市における障害者の一般就労率は平成28年度14.0%、平成29年度12.9%、平成30年度14.3%と横ばいで推移しているため、今後も継続した障害者雇用に関する事業が必要である。現在、企業開拓及び支援体制づくりを実施しており、今後も継続して事業を実施し、障害者の一般就労率の向上を図る必要がある。
見直し・改善内容	平成31年度に事業の見直しを行い、就労支援の強化を図っている。職場開拓推進員については、障害者就業・生活支援センターに配置していたが、平成31年度より障害者支援課に配置し、企業訪問件数が大幅に増加している。また、職場開拓推進員が開拓した企業に障害者が就労した事例もあり、就労移行支援事業所等の福祉施設や障害者就業・生活支援センターと連携している。今後も関係機関と連携し、更なる障害者雇用の推進を図っていく。